

令和6年度第1回警視庁I類教養試験解答・解説（令和6年4月13日実施）

No.	解答	一行解説
1	3	(1)三菱樹脂事件（最大判昭48・12・12）参照 (2)一定の要件の下に、裁判所による事前差止めは認められる。(4)教育を受ける権利は社会権 (5)外国人を入国させるか否かは、国際慣習法上当該国家の自由裁量とされている。
2	2	(1)都道府県知事の被選挙権は30歳以上 (3)代執行も認められる。(4)3分の1以上→50分の1以上 (5)首長・議員のリコールの請求先は選挙管理委員会だが（地方自治法80条1項、81条1項）、副知事や副市町村については長である（地方自治法86条1項）。
3	1	(2)イラン→インド (3)ユーロを導入していない国もある。(4)中国・ロシアも参加している。(5)ワルシャワ条約機構は1991年に解散している。
4	2	香港特別行政区基本法（香港基本法）により、一国二制度（社会主義と資本主義の併存）は50年間変えないことになっている。
5	5	(1)デモンストレーション効果と依存効果の説明が逆 (2)消費生活センターは地方公共団体が設置する行政機関で、公正取引委員会は1947年に設置された独占禁止法等を執行する行政機関 (3)リコール制度→クーリング・オフ制度 (4)適格消費者団体は、内閣総理大臣の認定を受けた消費者団体
6	5	(1)食糧管理制度は、1942年にできて、1995年に廃止された。(2)日本の現在の食料自給率は、カロリーベースで38パーセント (3)1999年から米の関税化が始まっている。(4)4次産業化→6次産業化
7	1	2023年はコロナ禍からの回復の年に当たるので、GDPは増加していることがわかる。また、それにもかかわらず、米ドル換算では減少しているということは、ドル高円安になっていることがわかる。そこで、正解肢は(1)か(2)に絞られるところ、ドイツとフランスでは、ドイツの方がGDPは大きいので、正解肢は(1)となる。
8	4	GXとは「グリーントランスフォーメーション」の略称。昨年に閣議決定された「GX実現に向けた基本方針」に基づく取組。
9	5	(1)令和4年の大麻事犯の検挙人員は5,342人であるが、初犯者や20歳代以下の若年層の占める割合が高い。(2)懲役刑が科される。(3)大麻草から製造された医薬品の施用等を可能とし、大麻の栽培は、都道府県知事による第一種大麻草採取栽培者免許又は厚生労働大臣による第二種大麻草採取栽培者免許を取得することで可能となる免許制とした。(4)大麻グミは、医薬品医療機器等法の指定薬物として規制の対象となった。
10	1	(2)北条早雲→北条義時 (3)1219年1月、実朝が頼家の子公暁に殺害された。(4)承久の乱の結果、後鳥羽、順徳、土御門の3上皇が、それぞれ隠岐、佐渡、土佐に配流された。(5)鎮西探題→六波羅探題
11	4	(1)経済安定部→持株会社整理委員会 (2)学校教育法と教育基本法が逆 (3)労働基準法と労働組合法が逆 (5)過度経済力集中排除法と独占禁止法が逆
12	5	(1)竜山文化は紀元前2000年代、(2)中国最古の王朝は殷（いん）、(3)冊封は君主が臣下に爵位名号を授ける制度、(4)晋王ではなく周王。
13	4	(1)ユーグ・カペーではなく神聖ローマ皇帝のオットー1世、ブルガリア帝国ではなくハンガリー王国を建国、(2)デーン人はスカンジナビア半島から到来した、(3)ノルマン人が建国したのはノルマンディー公国、(5)モスクワ大公国の成立は13世紀。ウラディミル1世はキエフ大公国のキエフ大公。
14	3	(1)北ではなく南。(2)水源は山の麓（ふもと）や谷の最上流部。(4)農業様式の1つであり、アメリカ西岸などでも見られる。(5)現在でもプランテーション農業により、コーヒー・カカオを大量生産している国がある。
15	1	(2)中継拠点となる空港。(3)LCCには国内線も国際線もある。(4)パナマ運河は水門式運河。(5)地域・集団・個人間に生じる。
16	2	(1)空海ではなく「最澄」。(3)法然ではなく「親鸞（しんらん）」、お経は「南無阿弥陀仏」。(4)お経は「南無妙法蓮華経」。(5)曹洞宗と臨済宗が逆。
17	4	(1)保元物語ではなく『義経記』。なお、保元物語は源為朝（ためとも）の活躍に関するもの。(2)漢文訓読調ではなく「和漢混交文」。(3)曾我物語ではなく「栄花物語」。なお、曾我物語は曾我兄弟に関するもの。(5)大鏡と増鏡が逆。四鏡の成立順は成立順は大鏡→今鏡→水鏡→増鏡。

令和6年度第1回警視庁I類教養試験解答・解説（令和6年4月13日実施）

No.	解答	一行解説
18	5	(1)熱心にものを探す目つき。(2)他人に熱心で自分には手が回らない。(3)図々しい。(4)人に親切にするとその相手のためになるだけでなく、結局は自分のためになる。
19	2	(1)会議・連合(3)傾向、話題の事柄(4)意見公募手続(5)組織・事業の運営・管理
20	4	$x=t-2$ $y=2t-5 \rightarrow t=x+2 \rightarrow y=2(x+2)-5 \rightarrow y=2x-1$
21	2	3.0Aの電流を5分22秒(322秒)流す $\rightarrow 3 \times 322 = 966$ (電気量)。電気量をファラデー定数 9.65×10^4 で割り、析出する銅の物質質量と流れた電子の物質質量が1:2なので析出する銅の物質質量は電子の物質質量の1/2となるため、1/2を掛ける。これに銅の原子量63.5を掛けたものが析出する銅の物質質量。
22	4	(1)枝文は「相同器官」の説明。なお、痕跡器官とは、人間の耳を動かす筋肉のように退化の痕跡。(2)枝文は「自然選択」の説明。なお、環境変異とは、同一の遺伝子型でも環境により形質変化。(3)枝文は「性淘汰」の説明。なお、共進化とは、複数の種の相互進化。(5)逆位や転座は、染色体突然変異であるため誤り。
23	4	「25°Cの空気塊の露点が15°C」とあるので、上昇する場合は露点に達するまでが25-15で10°C、乾燥断熱減率が1°C/100mで1000m、以降山頂までの2000mで湿潤断熱減率が0.5°C/100mなので山頂では5°Cとなる。山頂では雲がなくなっているため、下降の際は乾燥断熱減率が加わり合計で35°Cとなる。
24	2	後段に接続詞がないため、前段は分詞構文となる。Because there was no vacant seat on the bus.これを分詞構文にするとThere being no vacant seat~となる。
25	5	(1)in \rightarrow by「私は5分遅れたためバスを逃した」(2)by \rightarrow with「彼女はスプーンでアイスを食べた」(3)for \rightarrow during「彼は入院中沢山の本を読んだ」(4)on \rightarrow in「私たちは昨日河に泳ぎに行った」(5)「丘の上に三日月が見えた」
26	1	3段落2行目「しかし、彼は公民権運動の殉教者となり、彼の人生は平等を求める闘争のより力強い象徴となった。」
27	4	3段落4行目「日本社会は我々に優秀な聞き手になることを奨励するが必ずしも優秀な話し手になることは求められない。」
28	4	(1)、(3)は問題文中に該当する記述がない。(5)について、登山では16行目の「予想や通常状態と現実に大きな差異が生じることがあり」とあるので、枝文の内容自体が該当しない。
29	2	(3)、(4)のAやEでは、そもそも先頭の文とつながらない。(1)のD \rightarrow Cの後にFが来るのも、文章がつながらなくなる。(5)のB \rightarrow Aも文章としてつながっていない。
30	5	(1)猫の動体視力の良さは光の量を瞬時に調節できることによる、(2)猫は小さいモノを見ることが得意な訳ではない、(3)驚異的な身体のパネとの記述はない、(4)猫の驚異的な動体視力は、小動物などを捕らえるために発達したと考えられている。
31	3	5段落目及び4段落目1~2行目の記述を要約したのが(3)の選択肢となる。
32	1	(1)の枝文の内容が3段落目に記述されている。それ以外の選択肢は、問題文中に記述のない内容を含んでいる。
33	3	(1)「飛躍的に発展」という言葉は出て来ない、(2)異端であり、忘れ去られていったわけではない、(4)世界は粒子が集まってできているという考え方は20世紀になって受け入れられるようになった、(5)世界は粒子が集まってできているという考え方は古代ギリシャの時代から存在した。
34	3	2科目ずつ重なりが最少になる人数を出すと、英数で21人、数国で9人、英国で14人、ここから重なりが最少になる数を $21+9+14-40$ で求めると4人。
35	3	例えば24歳の男性の位置を固定して考えると、条件ア・ウから24歳の男性が弁護士、その右隣に38歳の教師、左隣に埼玉住みで北海道出身の者がいることになる。同様に条件イも考えると、24歳の弁護士が千葉住みで新潟出身、その右隣に38歳教師が神奈川住みで大阪出身、左隣の銀行員が埼玉住みで北海道出身とわかる。
36	2	正しい情報はウ、Aが法学部、Bが理学部、Cが経済学部となる。
37	4	どの種類かが20膳揃う手前、すなわち19膳+1本まで3種類出るのが最も本数がかかる。つまり $19 \times 2 + 1 = 39$ $39 \times 3 = 117$ 。これに1本足すと必ず20膳揃う。よって118。

令和6年度第1回警視庁I類教養試験解答・解説（令和6年4月13日実施）

No.	解答	一行解説
38	1	暗号慣れしていないと時間がかかる。犬猫を3つの暗号にしているのでdog、catで考える。(0,0)がaになり、(西1,0)がd、(西1,南1)がc、そして(東1,北1)がgとなるので、(0,0)をaとして南に1進んでから時計回りに座標にアルファベットを置いた暗号と分かる。これで考えるとmouseと出てくるので、ネズミが正解。
39	5	情報整理するとEFの順のほかに間に誰かが入る(5)ならABFCEDの順に確定する。
40	3	6進法で $29+22=51$ を表したものが問題文なので、 $29 \times 22 = 638$ を6進法で表すと2542。
41	2	問題文で並べられた4つの正方形の組み合わせパターンにさらに1つつなげて数える。12パターン成立する。
42	3	反射で出来上がる三角形が全て相似であることを利用するとPは5回跳ね返った後出発点の上方の頂点に到達するとわかる。
43	3	各頂点を考えて奇点が0か2になるのは正八面体のみ。
44	2	中心とPの距離を考えて、Pがどこからどこまで回るかを考えればよい。
45	3	105から207まで足すと $(105+207) \times 103 \div 2 = 16068$ 。このうち、7の倍数は、 7×15 から 7×29 まで含まれるのでその合計を $7(15+29) \times 15 \div 2 = 2310$ と出す。その差が13758。
46	1	全体の仕事を1とするとBの仕事は一日当たり $1/9$ 。条件通りに考えると2人で仕事を始めてから終わるのには4日かかる。
47	3	全体を900個として考えるとイメージしやすいかも。不良品合計は59個となり、不良品のうちC工場産は12個。
48	4	三平方の定理から母線の長さは15。展開図を書いて扇形の中心角を出す(底面の円周を利用する)と、 120° と分かる。頂角の二等分線は底辺を垂直に二等分にする性質を利用して直角三角形を作り、三平方の定理で求める。
49	1	(2)減少率は約8パーセント、(3)2015年の兼任職員の減少率は6.2パーセント、専任職員の減少率は12.2パーセント、(4)2018年の非常勤職員数は91.7、(5)団体利用者数の減少率は約10パーセント、個人利用者数の減少率は約12パーセント
50	5	アは、埼玉県が下回っているため「誤」、イは令和3年が約62パーセント、平成28年が約61パーセントで「誤」となり、ともに「誤」の選択肢は(5)のみ。